（財）財務会計基準機構会員

各　位

平成２１年8月１２日

会 社 名　　大 倉 工 業 株 式 会 社
代表者氏名　　代表取締役社長　鴻池 正幸
（コード番号 ４２２１ 東証第一部）
問合せ先　取締役ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｾﾝﾀｰ経理部長　豊田 員史
（TEL ０８７７－５６－１１１１）

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社ではこの度、平成２２年度を初年度とし、平成２４年度までの３ヵ年の新中期経営計画「第三次中期経営計画」（略称「第三次中計」）を策定いたしましたのでお知らせいたします。

当期で計画期間が終了する第二次中期経営計画（略称「第二次中計」）では、差別化・特殊化戦略の下での高度技術領域の拡大を含め、事業構造の変革に取り組み、一定の成果を得ることができました。しかしながら、一部の事業で計画に遅れが生じたことに加え、近時の経済環境激変の影響を受け、計数面では大幅な未達となる見込みとなりました。このような厳しい状況を踏まえ、今般、新たに策定した「第三次中計」では、継続して利益を生み出せる体質への転換を図るため、固定費の削減と不採算事業の構造改革に加えて、「第二次中計」で行った研究開発投資および設備投資を早期に安定した事業へ移行させることにより、成長分野に対して高度な加工技術と機能材料によるソリューションを提供する企業、つまり技術による差異化によって競合他社をリードし、顧客から選ばれる企業であり続けるべく、以下のとおり成長戦略を推進して参ります。

1. 第三次中期経営計画の基本方針

「第三次中計」では、当面の成長分野を「光・エレクトロニクス」、「環境・新エネルギー」、「バイオ・メディカル」と認識し、「第二次中計」で投資を実施した設備や開発プロジェクトの本格的な事業化を行います。あわせて、各事業セグメントにおいて引続き固定費の削減と不採算事業の構造改革により、早期の黒字転換および利益体質の確立を図ります。

また「第三次中計」の確実な推進のための組織体制の強化を行い、経営品質の向上を図ります。

2. 事業セグメント別基本方針

合成樹脂事業では、汎用製品の分社化戦略は完了しておりますが、一層の効率化、地域密着を目指します。機能製品は、クリーンキャスト機による産業資材、機能性シュリンクフィルムの拡大を図ります。

新規材料事業では、液晶パネル向け位相差フィルムのコストパフォーマンスの向上を図ります。成長分野では、精密塗工技術でタッチパネル市場に参入します。特に、事業規模が急速に縮小している光学フィルム加工事業では、不採算製品の統廃合やそれに伴うリソース配置の最適化を行います。

損益悪化の要因となった建材事業のパーティクルボード事業については、加工ボード事業の化粧板事業との統合も視野に入れつつ事業計画の再構築を行いました。市場の縮小が顕著な化粧板事業では、製品構成の見直しを図っていくとともにラワン合板基材から脱却した新しいラミネー

ト事業への再構築を製販一体で実施して参ります。

成長分野では、開発事業として太陽電池裏面保護用シート、リチウムイオン電池外包材等、エネルギー関連製品について、まず、既存設備を活用して市場参入を行い、将来の本格事業化の準備をすすめます。いずれも新エネルギー関連材料事業と位置づけ、プライオリティの高いテーマとして当社グループの経営資源を集中し、早期の安定事業化を図ります。

研究開発では、既に試験設備を使用した量産段階に至っている溶融押出テーマ、精密塗工テーマの事業化を行います。また、成長分野として特に光・エレクトロニクス、新エネルギー分野で取り組んでいるテーマについて、早期事業化のための技術確立を急ぎます。

3. 組織体制の強化

経営計画・財務戦略機能の強化のため、平成 21 年 1 月に経営計画部を新設し、担当役員を配置いたしました。また、同年４月に執行役員制度を導入するとともに、業務執行組織として経営会議を設置いたしました。これらの組織体制の強化により、計画に沿った固定費削減や事業再構築及び成長戦略を確実に推進して参ります。

また、企業の社会的責任を果たすべく「第二次中計」で品質保証、環境管理、コンプライアンス、内部統制監査の専門部署の新設または強化を行って参りました。「第三次中計」では、これらの機能の一層の定着化を図ることでマネジメントシステムとして進化させ、社会から信頼される企業を目指します。

4. 中期経営計画における数値目標（連結）

⑴ 事業セグメント別売上高計画

（百万円）

	平成21年見込	平成22年計画	平成23年計画	平成24年計画
合成樹脂事業	46,500	47,200	48,300	49,800
新規材料事業	13,800	16,300	17,800	17,900
建材事業	8,000	11,000	12,600	13,500
その他事業	4,400	4,700	4,900	4,900
開発事業	―	2,400	5,900	5,900
売上高合計	72,700	81,600	89,500	92,000

⑵ 同　営業利益計画

（百万円）

	平成21年見込	平成22年計画	平成23年計画	平成24年計画
合成樹脂事業	2,950	2,200	1,500	1,700
新規材料事業	△250	450	900	1,100
建材事業	△2,400	△1,150	△560	40
その他事業	350	330	220	220
開発事業	―	170	1,240	1,240
消去・全社	△1,500	△1,400	△1,600	△1,700
営業利益合計	△850	600	1,700	2,600

⑶ 同　設備投資計画及び減価償却費計画

（百万円）

	平成21年見込	平成22年計画	平成23年計画	平成24年計画
合成樹脂事業	1,670	2,760	2,380	2,290
新規材料事業	1,710	160	320	90
建材事業	820	240	240	90
その他事業	150	250	220	380
全社	50	530	230	580
合計	4,400	3,940	3,390	3,430
減価償却費合計	5,460	5,570	5,220	5,180

以　上